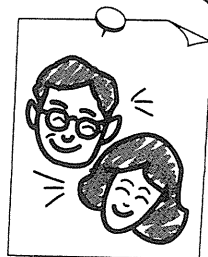


## 事務局職員奮闘記

# 人とのつながりを大事に センター発展のために邁進

公益社団法人鹿児島市シルバー人材センター（鹿児島県）  
主任 池上 聡



鹿児島市は魅力あふれる人口六十  
万の都市です。市内には温泉の源泉  
が約二百八十あり、その数は全国の  
県庁所在地の中で一番！心と体を  
癒してくれます。

隣接する錦江湾の豊富な魚介類や  
黒豚、地鶏、焼酎が「美食の宝庫」  
として心を豊かにしてくれます。

雄大な桜島などの「すばらしい景  
観」や、明治維新の立役者の知恵と  
経験が受け継がれているなど、魅力  
を挙げたらキリのない街です。

そのような魅力あふれる鹿児島市  
に所在する当センターは、九州で二  
番目に開設され、設立三十五年を迎  
えました。設立当初は二百六十八人  
だった会員数が、二十八年度に入っ  
て三千人を超え、二十七年度は会員  
の増加数が全国三位になるなど、今  
まさに飛躍しているセンターです。

### 採用から十一年

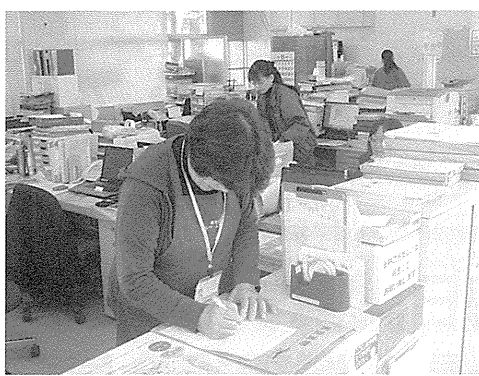
私が鹿児島市SCに採用されたの  
は十七年三月のことでした。当時は  
シルバー人材センターがどのような  
組織か理解できておらず、正直、団

だと思えます。皆さんの意見を尊重  
し大事にすることは、当たり前のこと  
ですが、改めて実感しました。

先ほどの上司からはほかに様々  
なことを教えてもらいました。

「会員は事務局の部下ではない、  
会員はセンターの主役である」とい  
うことを。主役であるというのは、  
会員自らが考え、自らが動くことが  
大事であるという意味です。

業務課に所属し、会員と接する機  
会が増えるにしたいが、皆さんがも  
つ豊かな経験と知恵と知識は、自分  
が足元にも寄りつけないということ



今後は事務局の仕事等も会員主体で運営する予定

を深く感じるようになりました。ま  
た、その経験、知識を十分に発揮し  
ないのはもったいないと思うようにな  
りました。

当時は、事務局に「おんぶにだっ  
こ」の状態で、私が担当した一部の  
職群班の会議では進行、協議事項は  
すべて事務局主導でした。そんなこ  
とではもったいない、会員は主役だ  
という考えから、会議の協議事項は  
会員自らが考え、進行し、会員同士  
が積極的に協議するスタイルをとり、  
会員が従来もっているポテンシャル  
を十分に発揮できるように裏方に回  
る取り組みを心がけたところ、意識  
が徐々に変わっていききました。

最初は、事務局は何もしないなど  
の反発がありました。地道に会員  
と話し合うと、幸いなことに理解が  
得られて、積極的に活動してもらえ  
るようになったという思い出があり  
ます。

### 会員が主役となるセンターへ

十年前の会員と近年入会した会員  
では希望職種や経歴、考え方が異な

体名しか知らない状態でよく採用さ  
れたなという思いでした。

そんな中、採用二か月後に趣味の  
サッカーで全治八か月の大けがをし  
てしまい、松葉づえをついての勤務。  
大忙しの職員や会員の皆さんに多大  
な迷惑をかけてしまいました。しか  
し、そんなこともあったせいか、社  
会人としてセンター職員としての責  
任を深く考えるようになり、この十  
一年間で少しは成長したのではない  
かと思えます。ただ、その後も交通  
事故で二か月近く入院して、再び迷  
惑をかけることもありましたが…。

### 業務課で学んだこと

二十七年度までの十年間、業務課  
に所属していました。その間に学ん  
だことは、会員を大事にすることに  
した。

シルバー人材センターは会員  
の活躍で成り立っている組織で  
す。その担い手を大事にしない  
で、センターの発展はあり得な  
いことです。

業務課に所属した頃、当時の上司

つてきています。既存の仕事の開拓  
も必要ですが、最近入会した会員が  
希望する職種（事務系の仕事）など  
の開拓も求められています。また、  
事務経験が豊富な人も多数入会して  
いるので、今後は事務局の仕事等も  
会員が主体となって運営していくこ  
とが必要かと思えます。

時代時代において会員のニー  
ズが変わってきているので、セ  
ンターもその時代に合わせて発  
展していく必要があります。

前述どおり、センターは会員が主  
役ですので、会員が活躍する場をつ  
くるのが事務局の役割と考えていま  
す。微力ながらもセンターのために  
努力を続けていこうと思えます。

### 人とのつながりを大事に

私がシルバー人材センターで働く  
ようになって十年以上となります。

その間、会員、発注者、先輩  
職員、そして同僚職員などすば  
らしい出会いがありました。そ  
の出会いが私を成長させてくれ  
たと考えています。



鹿児島市SCのパムフレット

に「会員と十分話し合ってから物事  
を進めなさい。会員を敬いなさい」  
と指導されました。当センター独自の  
剪定新人育成講習会（約二か月間  
の実施）を一から計画した際に、上  
司のありがたい指導を受け、会員の  
皆さんの意見を反映して、計画・実  
施しました。結果は、会員の意見や  
思いが詰まっている分、スムーズに  
運ぶことができ、第一回の講習会は  
成功裏に終わりました。

その講習会は現在も毎年一回、継  
続して開催しています。事業が継続  
して行われているのは、会員のお陰

その恩返しといえればおこがましい  
ですが、会員の皆さんが地域社会を  
支える担い手として地域で活躍でき  
る場を提供できるセンターづくり  
に頑張りたいです。また、先輩職員、  
同僚職員と力を合わせて努力したい  
と思えます。

二十八年度からは総務課に配属さ  
れ経理担当となりましたが、分から  
ないことだらけで現在も失敗続きの  
一年目です。現在の上司にも迷惑  
をかけ申し訳なさでいっぱいですが、  
今後も、人とのつながりを大事にセ  
ンター発展のために邁進してまいり  
ます。

### 筆者のプロフィール



（いけがみ さとし）  
池上 聡

鹿児島県鹿児島市出身。平成  
17年3月同センター採用。現  
在、主任